



平成30年11月分 大分税関支署管内貿易概況

平成31年1月16日
門司税關 大分税關支署

県全体の貿易額

輸出額は798.4億円、前年同月比16.7%増、2か月連続のプラス

船舶類、銅及び同合金、有機化合物などが増加

映像機器、事務用機器などが減少

輸入額は1,381.7億円、前年同月比84.2%増、10か月連続のプラス

銅鉱、原油及び粗油、石炭などが増加

液化天然ガス、鉄鉱石などが減少

主要品目

(単位:百万円、%)

輸出	価額	前年同月比	構成比	輸入	価額	前年同月比	構成比
有機化合物	10,428	118.6	13.1	鉄鉱石	15,852	97.6	11.5
鉄鋼	17,729	96.8	22.2	銅鉱	35,839	1284.6	25.9
銅及び同合金	11,368	178.9	14.2	石炭	23,211	149.0	16.8
事務用機器	8,962	82.4	11.2	原油及び粗油	35,448	205.3	25.7
映像機器	8,904	67.9	11.2	揮発油	10,679	198.2	7.7
船舶類	10,170	512.9	12.7	液化天然ガス	7,679	90.0	5.6

港(通関官署)別の状況 (詳細は、別添「港別外国貿易概況」参照)

大分) 輸出は741.7億円、前年同月比13.1%増。船舶類が全増、銅及び同合金などが増加、映像機器などが減少
輸入は1,373.4億円、前年同月比84.6%増。銅鉱、原油及び粗油などが増加、液化天然ガスなどが減少

佐伯) 輸出は12.3億円、前年同月比39.7%減。船舶類が全減、荷役機械が全増、木材が増加
輸入は0.4億円、前年同月比82.1%減。植物性油かす、石こうが全減、魚介類が減少

津久見) 輸出は44.3億円、前年同月比5.6倍。船舶類、セメント、石灰石などが増加
輸入は7.8億円、前年同月比2.1倍。石油コークス、石炭、アルコール飲料が増加

**大分
空港)** 輸出入実績なし

港名(通関官署)

(単位:百万円、%)

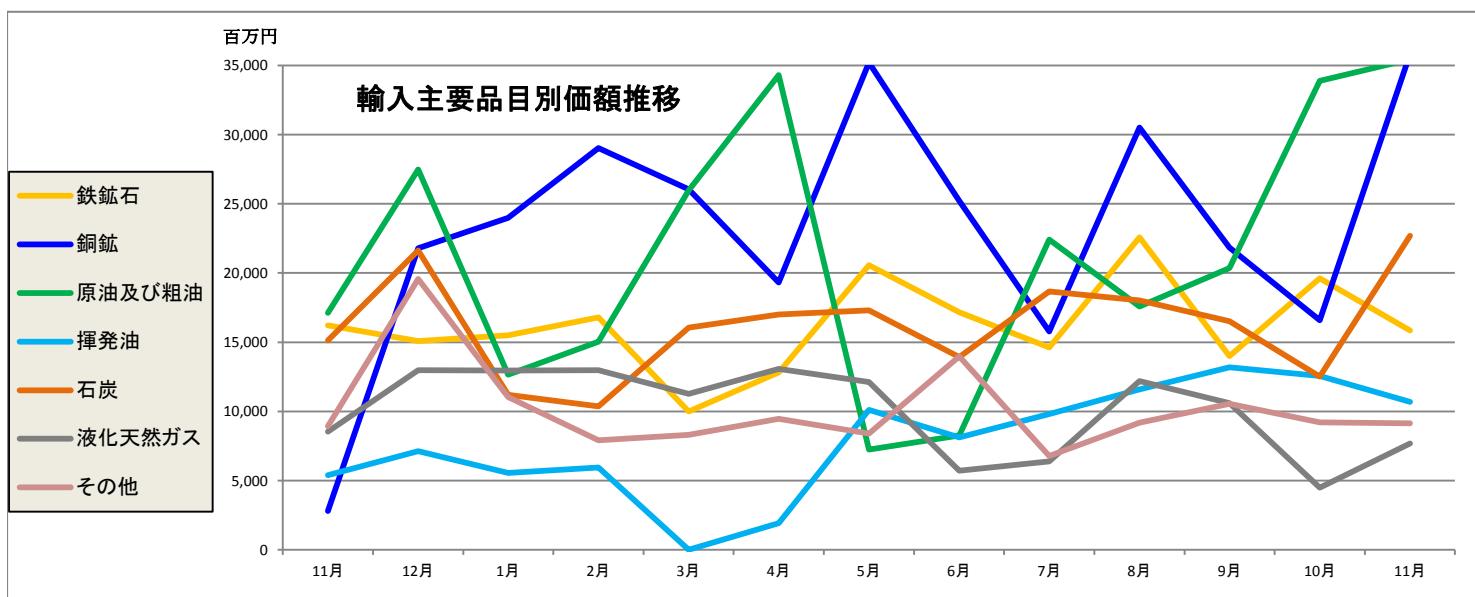
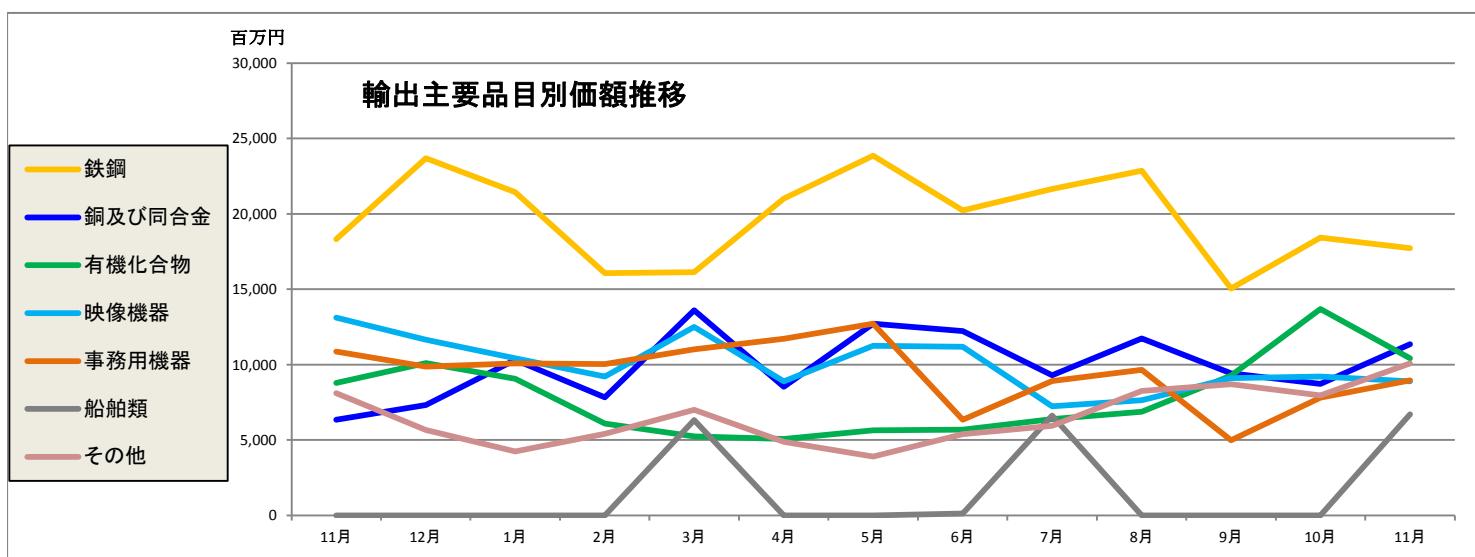
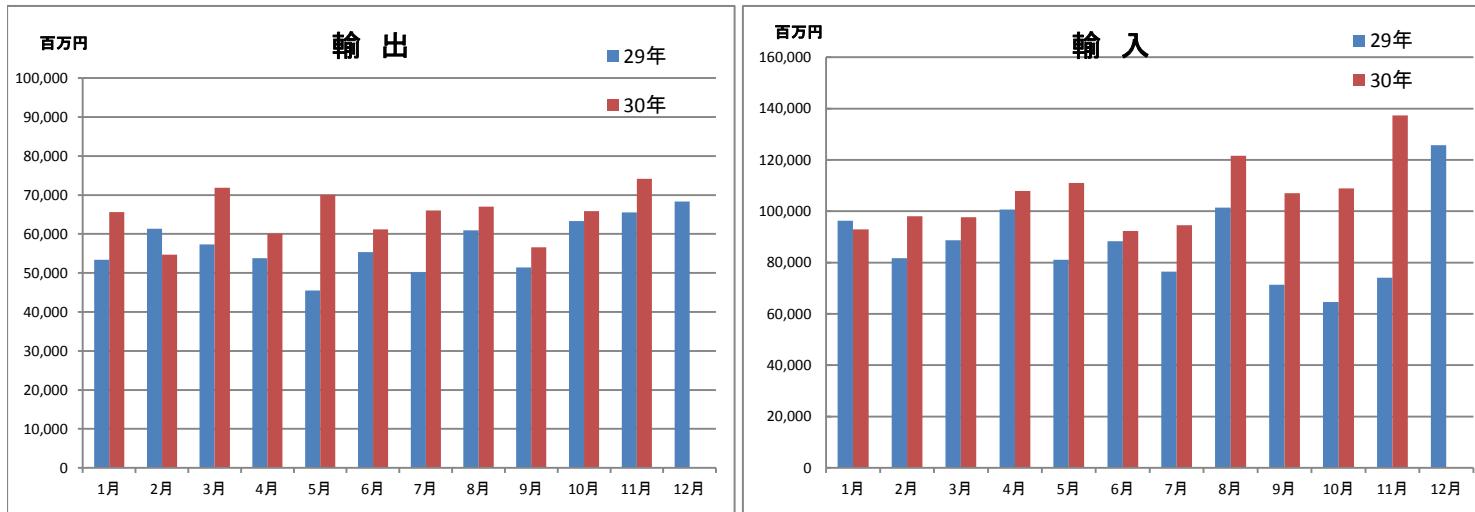
区分	輸出			輸入			差引額	
	価額	前年同月比		価額	前年同月比		出・入超	価額
大分(大分)	74,171	113.1	9か月連続のプラス	137,345	184.6	9	入超	63,174
佐伯(佐伯)	1,231	60.3	4か月ぶりのマイナス	41	17.9	4	出超	1,190
津久見(津久見)	4,433	561.1	2か月連続のプラス	784	208.2	7	出超	3,649
大分空港(大分空港)	-	-		-	-		-	-
大分県	79,835	116.7	2か月連続のプラス	138,170	184.2	9	入超	58,335

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。

※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。

※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

大分港貿易額の推移



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課

シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>

YouTube 税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>